一年生でならったかん字をつかいこなそう

四かくにあてはまる　かん字（すう字）　を　かきましょう。

① 二（に）のあしをふむ
ためらうこと。

② 三（み）つごのたましい百まで
小さいころのせいかくは、そのあともずっとかわらないこと。

③ 二（に）のまいをえんじる
おなじしっぱいをくりかえす。

④ 千（せん）里（り）がん
先の先までみとおすこと。

⑤ 九（きゅう）死（し）に一生をえる
たすかるみこみがないが、なんとかたすかること。

⑥ 十（じゅう）人十（と）色（いろ）
人はみんな、せいかくや、このみなどがちがうこと。

⑦ 八（はっ）方（ぼう）ふさがり
みうごきがとれずに、とほうにくれること。

⑧ 一（いち）か八（ばち）か
けっかがどうなるかわからないが、ちょうせんすること。

⑨ 一（いち）日千秋（にちせんしゅう）
一日が千年のようにながくかんじられる。

⑩ 二（に）足（そく）三（さん）文（もん）
とてもやすいこと。

⑪ 三（みっ）日坊主（かぼうず）
あきっぽくて、ながつづきしないこと。